防火管理に係る消防計画

　（目的）

第１条　この計画は，消防法第８条第１項の規定に基づき，防火管理者が　　　　　　　　　　の防火管理について必要事項を定め，火災，地震，その他の災害の予防と人命の安全および被害の軽減を図ることを目的とする。

　（適用範囲）

第２条　この計画を適用する者の範囲は，当該防火対象物に勤務し，出入するすべての者とする。

　（管理権原の及ぶ範囲）

第３条　管理権原者の当該権原の及ぶ範囲は，　　　　　　　　　部分とする。

２　管理権原者は，防火対象物の管理形態等を別表１「防火対象物実態

把握表」により把握し，防火管理者に防火管理業務を適正に行わせなければならない。

　（管理権原者の責務）

第４条　管理権原者は，防火管理業務のすべてについて責任を持つもの

とする。

２　管理権原者は，管理的または監督的な立場にあり，かつ，防火管理

業務を適正に遂行できる資格者を，防火管理者として選任しなければ

ならない。

３　管理権原者は，防火管理者が消防計画を作成または変更する場合に

は，必要な指示を与えなければならない。

★４　各管理権原者は，統括防火管理者が作成する防火対象物全

体についての消防計画を確認する。

（★印の部分は，該当する場合に記載するものとする。（以下同じ。））

　（防火管理者の業務と権限等）

第５条　防火管理者は，この計画の作成および実行についてすべての権

限を持って，次の業務を行うものとする。

⑴　消防計画の作成および変更

　⑵　自衛消防の組織に係る事項

　⑶　防火安全に係る自主検査・点検の実施と監督

　⑷　消防用設備等の法定点検・整備およびその立会い

　⑸　避難通路，避難口その他の避難施設の維持管理

　⑹　収容人員の適正管理

　⑺　従業員等に対する防火教育・訓練の実施

　⑻　火気の使用，取扱いの指導，監督

　⑼　改装工事など工事中の立会いおよび安全対策の樹立

　⑽　放火防止対策の推進

　⑾　関係機関との連携

⑿　その他防火上必要な事項

★⒀　統括防火管理者への報告

　　ア　防火管理者に選任または解任されたとき。

　　イ　消防計画を作成または変更するとき。

　　ウ　防火対象物の法定点検の実施および結果について。

　　エ　消防用設備等の法定点検の実施および結果について。

　　オ　建築物等の定期検査の実施および結果について。

　　カ　防火上の建物構造の不備や消防用設備等の不備欠陥を確認した

　　ときおよびそれらを改修したとき。

　キ　火気を使用する設備器具（以下「火気使用設備器具」という。）

　　または電気設備の新設，移設，改修等を行うとき。

　ク　臨時に火気を使用するとき。

　ケ　催物を開催するとき。

　コ　大量の可燃物の搬入および危険物の貯蔵・取扱いを行うとき。

　サ　避難通路等の変更を行うとき。

　　シ　用途および設備を変更するときまたは内装改修・改築等の工事を行うとき。

　ス　消防計画に定めた消防機関への報告および届出等を行うとき。

　セ　消防計画に定めた訓練を実施するとき。

　ソ　防火管理業務または防火管理者の業務を委託するとき。

　タ　消防機関が行う検査等の実施および結果について。

　チ　統括防火管理者から指示された事項を実施したとき。

　ツ　その他防火管理上必要な事項

★（防火管理業務の委託）

第６条　防火管理業務の一部の委託を受けて行う者（以下「受託者」と

いう。）は，この計画に定めるところにより，管理権原者および防火

管理者の指示，指揮命令の下に適正に業務を実施する。

２　受託者の防火管理業務の実施範囲および方法は，別表２のとおりとする。

３　受託者は，受託した防火管理業務について定期的に防火管理者に報

告する。

　（予防活動組織）

第７条　予防的活動に係る組織は，防火管理者を中心に階などを単位と

　して防火担当責任者を，また各室，火気使用箇所などを単位として火

　元責任者を別表３のとおり定めるものとする。

２　防火担当責任者は，次の業務を行う。

　⑴　担当区域内の火元責任者に対する業務の指導および監督に関する

こと。

　⑵　防火管理者の補佐

３　火元責任者は，担当区域内において次の業務を行う。

⑴　火気管理に関すること。

　⑵　自主検査表などによる建物，火気使用設備器具，電気設備，危険

物施設および消防用設備等の日常の維持管理に関すること。

　⑶　防火担当責任者の補佐

　（出火防止対策）

第８条　防火管理者は，火気使用設備器具の種類，使用する燃料，構造

等に応じた安全管理に努めるものする。

２　防火管理者は，次の事項について喫煙および火気等の使用の制限を

行うものとする。

　⑴　喫煙場所を明確に指定して徹底するとともに，以下の事項を行う

ものとする。

　　ア　歩行中の喫煙，くわえたばこを禁止する。

　　イ　毎日終業後，不燃性の処理容器に吸殻をまとめ，水をかけて安

全を図る。

　⑵　火気使用設備器具等の使用禁止場所は，厨房および給湯室を除く

すべての場所とする。

　（放火防止対策）

第９条　防火管理者は，次の事項に留意して放火防止に努めるものとする。

　⑴　廊下，階段室，洗面所等の可燃物の整理，整頓または除去を行う。

　⑵　物置，空室，倉庫等の施錠管理など，第三者が入れない環境作りを行う。

　⑶　アルバイト，パート，派遣などの従業員の明確化による不法侵入

者の監視を行う。

　⑷　監視カメラ等による死角の解消および死角となる場所の定期的な

巡回監視を行う。

　⑸　休日，夜間等における巡回体制の確立と放置されている可燃物等の整理整頓を行う。

　⑹　最終退館者は，火気および施錠の確認を確実に行う。

　⑺　全従業員等に対する放火防止意識の高揚策を図る。

　（火災予防上の自主検査等）

第１０条　火災予防上の自主検査は別表４により，消防用設備等の自主点検（点検基準）は，別表５により実施する。

２　検査および点検結果は，防火管理者が管理権原者等に報告し，不備欠陥については改修計画を樹立し整備する。

３　点検結果の記録は，「防火管理維持台帳」に編冊して３年間整備保存する。

　（避難施設等の維持管理）

第１１条　避難施設の維持管理は次による。

1. 避難口，階段，避難通路等には避難の障害となる設備を設けたり

物品を置いてはならない。

　⑵　防火戸の付近には，常に閉鎖の障害となるような物品を置いては

ならない。

⑶　内装およびその他の防火上の構造に不備欠陥があれば，改修する

　ること。

　（震災対策）

第１２条　防火管理者は，地震時の災害を予防するため，ロッカー等の転倒防止措置，看板・広告塔等の落下防止措置等を行う。

２　地震等の災害に備え，救助救護等の資器材および非常用物品を確保し，維持管理を行う。

３　地震が発生した場合，次の安全措置を行うものとする。

⑴　地震発生直後は，身の安全を守ることを第一とする。

⑵　火気使用設備器具の直近にいる者（従業員）は，電源および燃料の遮断等を行い，防火管理者に状況を報告する。

⑶　防火管理者は，二次災害の発生を防止するため，建物，火気使用設備器具等について点検，検査を実施し，異常が認められた場合は，応急処置を行う。

４　地震時の活動は，消防計画の自衛消防組織による活動を原則とする。

⑴　自衛消防隊長は，建物内外の状況を把握し，必要な情報を自衛消

　防隊員に周知徹底させるとともに，混乱を防止するために建物内に

いる在館者に適切な指示を行う。

⑵　避難にあっては，身の安全を確保した後，

　　へ避難させる。

５　事業再開時には，建物の被害状況を把握し，身の安全を図り復旧作

業を行う。

６　火気使用器具等の破損状況を検査し，安全であることを確認した後，

使用を再開する。

★７　日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震に伴い発生する津波に係る事

項については，別に定める。

　（工事における安全対策）

第１３条　増築等の工事を行おうとするときは，あらかじめ防火管理者は消防機関と協議する。

２　防火管理者は，増築等の工事を行う場合，工事施工責任者に対して工事計画書を事前に提出させ，必要な指示を行う。

３　防火管理者は，工事に立会い，火気の使用または取扱いに関する監

督を行う。

４　工事人に対して，指定された場所以外では喫煙および裸火の取扱いをさせない。

５　工事人に対して，火気管理の責任者を作業場所ごとに指定し，掲示させるとともに，次の対策をさせる。

　⑴　溶接，その他の火気等を使用する工事を行う場合は，消火器等を

準備する。

1. 塗装などに危険物等を使用する場合は，その都度，防火管理者の承認を受ける。

　（自衛消防の組織等）

第１４条　消防計画に定める自衛消防組織は，別表６により編成し，災害発生時の任務は次による。

1. 自衛消防隊長・副隊長

　　ア　自衛消防隊の活動を総括し，全体を指揮する。

　　イ　火災に係る情報を集約し公設消防隊に報告する。

⑵　通報連絡班

　　ア　１１９番に通報する。

　　イ　非常ベルを鳴らすなど，在館者に災害発生を知らせる。

　　ウ　関係機関や関係者へ連絡する。

1. 避難誘導班

　　ア　避難口を開放し，避難経路図に従い避難誘導に当たる。

　　イ　非常警報器具等を活用し，避難口に誘導する。

　　ウ　エレベーター等の使用を制限する。

　　エ　避難誘導は大声で簡潔に行い，パニック防止に全力をあげる。

　　オ　逃げ遅れた者がいないことを確認した後，すべての防火戸等を

完全に閉鎖し，火災の拡大を防止する。

1. 消火班

　　　消火器具・消火設備等を活用し，消火活動を実施する。

⑸　救護班

　　ア　負傷者に対する応急処置を実施する。

　　イ　救急隊と連絡を密にして負傷者を速やかに運ぶことができるよ

うにする。

　　ウ　負傷者の氏名，負傷程度など必要事項を記録する。

　（従業員等の防火・防災教育）

第１５条　従業員等に対し防火・防災教育を次のとおり実施する。

　⑴　教育の内容は，概ね次の項目について教育する。

　　ア　火災予防上の遵守事項

　　イ　防火管理に関する従業員各自の任務および責任の周知徹底

　　ウ　震災対策に関する事項

　　エ　その他火災予防上必要な事項

　⑵　教育の実施方法

　　ア　新入社員等採用時の研修期間中に実施する。

　　イ　毎日の朝礼時または就業時に合わせて実施する。

　　ウ　その他

　（従業員等の訓練）

第１６条　防火管理者は従業員等に対し，火災，地震その他の災害が発生した場合，迅速かつ的確に所定の行動ができるように次により訓練を実施する。

２　訓練種別

消火，通報および避難の訓練

３　訓練実施計画は（年　回）とし，実施時期は（ 　月・　月）とする。

　（消防機関との連絡等）

第１７条　管理権原者または防火管理者は，消防機関との連絡を図り，次の事項について通報または届出を行う。

1. 防火管理者選任（解任）届出

　⑵　消防計画作成（変更）届出

　⑶　訓練実施の通報「自衛消防訓練等通知書」届出

　⑷　消防用設備等点検結果報告届出

　⑸　増築等の工事を行うときの「工事中の消防計画書」届出

　⑹　その他消防法令により義務付けられている届出

　（その他防火管理上必要な事項）

第１８条　前条までに定めるもののほか，防火管理上必要な事項は別に

　定める。

　　　附　則

この計画は，　　　　年　　月　　日から施行する。

別表１

**防　火　対　象　物　実　態　把　握　表**

敷地全体

|  |  |
| --- | --- |
| 収 容 人 員 | 　133名 |
| 防火管理業務の一部委託 | 有　　・　　無 |

建物(棟)別

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  |  |  |  | 建物(棟)№ |  |
| 防　火　対　象　物　名　称 | ホテル函館 |
|  |
| **１　規模・構造等** |
| 使　用　開　始　年　月 | 階 数 | 用 途 | 延面積 |
| 地 上 | 地 下 |
| 昭和６２　年　１　　月 | 8階 | 階 | ホテル | 5,154.60㎡ |
| 構　 造 | 階 段 |  |  |
| 屋 内 | 屋 外 |
| 耐火　・　準耐火　・　その他 | 　　　　1本 | 　　　　1本 |  |  |
|  |
| **２　火気等の使用状況** |
| 1. 火気使用状況
 |
| 厨房，ボイラー室 |
| 1. 危険物および指定可燃物等の貯蔵・取扱い状況
 |
| ホームタンク（軽油　４９０ℓ） |
|  |
| **３　消防用設備等の設置状況**（設置されている設備は枠内に○を入れる） |
| 1. 消火設備
 |
| ○ | 消火器 | ○ | 屋内消火栓設備 |
|  | スプリンクラー設備 |  | 屋外消火栓設備 |
| ○ | （ハロゲン化物）消火設備 |  |  |
| 1. 警報設備
 |
| ○ | 自動火災報知設備 |  | 非常警報設備（ベル・サイレン） |
| ○ | 非常警報設備（放送設備） |  | 漏電火災警報器 |
|  | ガス漏れ火災警報設備 |  |  |
| 1. 避難設備
 |
|  | 避難器具(　　　　　　　　　　) | ○ | 誘導灯 |
|  |  |  |  |
| 1. 消火活動上必要な施設等
 |
| ○ | 連結送水管 |  | 消防用水 |
|  | 非常コンセント設備 |  |  |

※　同一敷地内に管理権原者が同一の棟が複数ある場合は，この表を建物(棟)ごとに記載すること。

なお，敷地は1枚目のみ記載すること。

▲別表２（防火管理業務を第三者へ委託している場合）

防火管理業務の一部委託状況表

年　　月　　日現在

|  |  |
| --- | --- |
| 防火対象物名称 |  |
| 管理権原者氏名 |  |
| 防火管理者氏名 |  |
| 受託者の氏名および住所等法人にあっては名称および主たる事務所の所在地 | 氏名（名称） |  |
| 住所（所在地） |  |
| 担当事務所所在地 | 　ＴＥＬ |
| 再受託者の有無 | 　□無　　　□一部委託　　　□全部 |
| 受託者の行う防火管理業務の範囲および方法 | 常駐方式 | 範囲 | □　火気使用箇所の点検等監視業務□　避難または防火上必要な構造および設備の維持管理□　消防・防災設備等の監視・操作業務□　火災，地震その他の災害が発生した場合の初動措置□初期消火　□通報連絡 □避難誘導 □その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　 　　　　　　　　）□　周囲の可燃物の整理□　その他（　 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| 方法 | 常駐場所 |   |
| 常駐人員 |  |
| 委託する防火対象物の範囲 |   |
| 委託する時間帯 |  |
| 巡回方式 | 範囲 | □　火気使用箇所の点検等監視業務□　避難または防火上必要な構造および設備の維持管理□　消防・防災設備等の監視・操作業務□　火災，地震その他の災害が発生した場合の初動措置□初期消火　□通報連絡 □避難誘導 □その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　 　　　　　　　　）□　周囲の可燃物の整理□　その他（　 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| 方法 | 巡回回数 |  |
| 巡回人員 |  |
| 委託する防火対象物の範囲 |  |
| 委託する時間帯 |  |
| 遠隔移報方式 | 範囲 | □　火災異常の遠隔監視および現場確認業務□　火災，地震その他の災害が発生した場合の初動措置□初期消火　□通報連絡 □避難誘導 □その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　　　）□　その他（　 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| 方法 | 現場確認要員の待機場所 |  |
| 到着所要時間 |  |
| 委託する防火対象物の範囲 |  |
| 委託する時間帯 |  |

（備考）　「受託者の行う防火管理業務の範囲」については，該当する項目の□に✔印を付する。

別表３

**予　防　活　動　組　織　編　成　表**

|  |  |
| --- | --- |
| 防 火 管 理 者 氏 名 | 　管理者　太郎 |
| 防 火 担 当 責 任 者 | 火　元　責　任　者 |
| 担当区域（階） | 氏　　名（職　　名） | 担当区域（部分） | 氏　　名（職　　名） |
| １階 | 消防　太郎（フロント主任） | 売店 | フロントＡ |
| ロビー | フロントＢ |
|  |  |
| ２階 | 計画　消子（料理長） | レストラン | 調理スタッフ |
|  |  |
|  |  |
| ３～７階 | 火消　次郎（客室担当） | 客室 | 清掃スタッフＡ |
| 客室 | フロントＣ |
|  |  |
| ８階 | 消防　三子（施設担当課長） | 大浴場 | 施設管理担当 |
|  |  |
|  |  |
| 階 |  |  |  |
|  |  |
|  |  |

　　※火元責任者は防火管理者（不在の場合は防火担当責任者）が当日に勤務員から指名する。

別表４　　　　　　　　**自　　主　　検　　査　　表　（　　月）**

防火管理者

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 日 | 曜　　　　日 | 検　　　　　査　　　　　項　　　　　目 | 検　査　実　施　者 |
| 避難通路等に物品が放置されていないか。（避難口・廊下・階段・避難通路） | 避難口（非常口）は容易に開放できるか。 | 防火戸等の閉鎖障害はないか。 | 防火戸等の自動閉鎖装置は有効に機能するか。 | ガス器具のホースの劣化・損傷はないか。 | 電気器具や配線などの劣化・損傷はないか。 | 火気設備器具の異常はないか。 | たばこの吸殻の処理は適正か。 | 終業時の火気の確認 |  |  |
| 1 | ( ) |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 2 | ( ) |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 3 | ( ) |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 4 | ( ) |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 5 | ( ) |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 6 | ( ) |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 7 | ( ) |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 8 | ( ) |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 9 | ( ) |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 10 | ( ) |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 11 | ( ) |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 12 | ( ) |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 13 | ( ) |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 14 | ( ) |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 15 | ( ) |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 16 | ( ) |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 17 | ( ) |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 18 | ( ) |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 19 | ( ) |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 20 | ( ) |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 21 | ( ) |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 22 | ( ) |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 23 | ( ) |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 24 | ( ) |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 25 | ( ) |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 26 | ( ) |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 27 | ( ) |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 28 | ( ) |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 29 | ( ) |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 30 | ( ) |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 31 | ( ) |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |

※　備考　良の場合は○を，不備のある場合×を，即時改修した場合はを記入する。

別表５(その１)**消 防 用 設 備 等 の 自　主　点　検　表（　　月）**

防火管理者

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 日 | 曜　　　　日 | 消火器 | 自動火災報知設備 | 非常警報設備（ベル） | 避難器具誘導灯 | 誘導灯 | 点　検　実　施　者 |
| 設置場所に置いてあるか。 | 変形・損傷等はないか。 | 安全栓が外れていないか。 | 圧力計がある場合は、指示範囲内にあるか。 | 受信機のスイッチは、ベル停止となっていないか。 | 感知器の破損、変形、脱落はないか。 | 発信機の周囲に障害物はないか。 | 発信機の表示灯は点灯しているか。 | 押しボタンの保護板に破損等はないか。 | 操作上障害となる物はないか。 | 表示灯は点灯しているか。 |  | 標識に変形・脱落・汚損はないか。 | 開口部は容易に開放できるか。付近に障害となる物品等がないか。 | 降下する際に障害となる物はないか。 | 着地する周囲に必要な空地が確保されているか。 | 不点灯、ちらつきなどがないか。 | 変形、損傷等はないか。 | 視認障害はないか。 | 非常電源の機能は正常か。 |
| 1 | ( ) |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 2 | ( ) |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 3 | ( ) |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 4 | ( ) |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 5 | ( ) |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 6 | ( ) |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 7 | ( ) |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 8 | ( ) |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 9 | ( ) |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 10 | ( ) |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 11 | ( ) |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 12 | ( ) |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 13 | ( ) |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 14 | ( ) |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 15 | ( ) |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 16 | ( ) |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 17 | ( ) |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 18 | ( ) |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 19 | ( ) |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 20 | ( ) |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 21 | ( ) |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 22 | ( ) |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 23 | ( ) |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 24 | ( ) |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 25 | ( ) |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 26 | ( ) |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 27 | ( ) |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 28 | ( ) |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 29 | ( ) |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 30 | ( ) |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 31 | ( ) |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |

※　備考　良の場合は○を，不備のある場合×を，即時改修した場合はを記入する。

別表５(その２)**消 防 用 設 備 等 の 自　主　点　検　表（　　月）**

防火管理者

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 日 | 曜　　　　日 | 屋内(外)消火栓設備 | スプリンクラー設備 | 非常警報設備（放送設備） | 連結送水管 |  | 点　検　実　施　者 |
| 使用上の障害となる物品はないか。 | 消火栓箱は確実に開閉できるか。 | ホース・ノズルが適正に収納されているか。 | 表示灯は点灯しているか。 | 制御弁は開放されているか。 | ヘッド周囲に散水障害はないか。 | 補助散水栓箱は確実に開閉できるか。 | 補助散水栓のホース・ノズルが適正に収納されているか。 | 操作上障害となる物はないか。 | 操作スイッチ類は正常な位置にあるか。 | スピーカーは破損、変形、脱落はないか。 |  | 送水口は消防ポンプ自動車が容易に接近できるか。 | 標識に汚損・脱落はないか。 | 放水口付近に障害物はないか。 |  |  |  |  |  |
| 1 | ( ) |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 2 | ( ) |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 3 | ( ) |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 4 | ( ) |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 5 | ( ) |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 6 | ( ) |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 7 | ( ) |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 8 | ( ) |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 9 | ( ) |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 10 | ( ) |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 11 | ( ) |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 12 | ( ) |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 13 | ( ) |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 14 | ( ) |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 15 | ( ) |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 16 | ( ) |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 17 | ( ) |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 18 | ( ) |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 19 | ( ) |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 20 | ( ) |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 21 | ( ) |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 22 | ( ) |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 23 | ( ) |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 24 | ( ) |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 25 | ( ) |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 26 | ( ) |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 27 | ( ) |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 28 | ( ) |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 29 | ( ) |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 30 | ( ) |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 31 | ( ) |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |

 ※　備考　良の場合は○を，不備のある場合×を，即時改修した場合はを記入する。

別表６

**自　衛　消　防　組　織　編　成　表**

１　チェックイン時間内等　（　１０時００分～２０時００分）

副隊長（防火管理者）

自衛消防隊長（代表取締役）

　　　　　　　　　　通報・連絡班

　　　　　　　　　　班長（フロント主任　）班員（フロント係）

　　　　　 　　　　　　　　　 以下 ３ 人

 　　　　　　消 火 班

　　　 　　　　　　班長（料理長　　　　）班員（調理スタッフ）

 　 以下　２ 人

 　　　　　　 避難誘導班

　　　 　　　　　　 班長（フロント主任　）班員（清掃スタッフ）

 　 以下 ３ 人

 　　　　　　救 護 班

　　　 　　　　　　班長（施設担当課長　）班員（施設課職員）

 　 以下 ２ 人

　　　　　　　　　　( 　)班

　　　 　　　　　　班長（　　　　　　　）班員（　 　　　）

　　　　　　　　　　　　　　 　 　　　以下　　　人

２　勤務人員が少ない時間帯（　２０時００分～１０時００分）

 　　通報・連絡班

（宿直責任者）

自衛消防隊長

　　　　　 　 ( 夜間フロント担当 ) 以下　２　人

　　　　 　　消火班

 　 ( 夜間施設管理者　 )　以下　１　人

　 　　避難誘導班

 　 ( 夜間施設管理者　　)　以下　２　人

★夜間等無人，別表２により委託（警備会社等に委託している場合）

|  |  |
| --- | --- |
| 緊 急 連 絡 先 | 　管理者　太郎　　（電話　0138-00-0000　） |

★夜間等無人，連絡先は下記（警備会社等に委託していない場合）

日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震防災規程

（目的）

第１条　この規程は，日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震に係る地震防災対策の推進に関する特別措置法（以下「法」という。）に基づき，津波からの円滑な避難の確保に関する事項その他地震防災対策上必要な事項について，人命の安全および被害の軽減を図ることを目的とする。

（組織）

第２条　日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震が発生した場合における防災に関する業務を行う者の組織（以下「地震防災隊」という。）は，次のとおりとし，その編成および任務を別表１のとおり指定する。

　⑴　地震防災隊に隊長および副隊長を置く。

　⑵　隊長のもとに情報収集連絡班および避難誘導班を設置し，各々班長を置く。

（隊長等の権限および業務）

第３条　隊長は，地震防災隊の活動に関する一切の権限をもち，日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震に伴う津波警報等が発表された場合等日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震が発生したことを覚知した場合は，次の措置を講ずるものとする。

　　なお，津波警報等の発表が行われる前であっても，強い揺れを感じたとき，または弱い揺れであっても長い時間ゆっくりとした揺れを感じたときは直ちにこれらの措置を講ずるものとする。

⑴　情報収集連絡班に地震および津波に関する情報の収集にあたらせること。

⑵　日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震が発生したことを各班長に伝達するとともに，当該施設内にその旨および必要な措置について周知すること。

⑶　避難誘導班に顧客等の避難誘導にあたらせること。

⑷　従業員を　　　　　に集合させ避難させること。

　⑸　前号に掲げるほか，津波からの避難に支障がない範囲で，地震による被害の発生防止または軽減を図るために必要な措置を行わせること。

２　副隊長は，隊長を補佐し，隊長に事故あるときまたは不在のときは，その職務を代理する。

（従業員の責務）

第４条　日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震に伴う津波警報等が発表されたときまたは地震が発生したことを覚知した従業員は，直ちに隊長および情報収集連絡班長にその旨を報告するものとする。

（情報収集連絡班の業務）

第５条　情報収集連絡班は，次の活動を行うものとする。

⑴　隊長の指示に基づき，ただちに地震および津波に関する情報の収集につとめ，随時隊長に報告すること。

　⑵　隊長の指示に基づき，地震および津波に関する情報および隊長の命令の内容等防災上必要な情報を，次項に定める手段を用い，顧客，その他の従業員に伝えること。

　⑶　あらかじめ幾つかの状況を想定し，それぞれの場合に応じた顧客等に対する情報伝達のための例文，手段等を定めておくこと。

（避難誘導班の業務）

第６条　避難誘導班は，次の活動を行うものとする。

　⑴　地震の発生または隊長の指示に基づき，速やかに所定の位置につき，建物内の避難路の確保および安全の確認，当該地域の避難場所までの経路を示した地図の掲出等必要な措置を講じ，完了後はその旨を直ちに隊長へ報告すること。避難誘導に際しては，自身の安全にも配慮すること。

　⑵　隊長から避難誘導開始の指示を受けたときは，顧客，従業員等を避難誘導すること。

　⑶　避難誘導の際には，拡声器等を用いて避難の方法や方向を指示し，混乱の発生防止に努めること。

　⑷　顧客等への避難誘導が完了したときは，その旨を確認し，直ちに隊長に報告すること。

　⑸　避難誘導方法については，積雪や凍結等により避難に時間を要するおそれがあることを考慮すること。

　⑹　避難行動要支援者の避難支援，外国人，出張者および旅行者等の避難誘導についても配慮すること。

（その他不測の事態）

第７条　隊長は，日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震が発生した以後の状況等から，この防災規程どおりに活動することが困難または適当でないと判断したときは，これによらないことができる。この場合，隊長は直ちに隊員に必要な指示を与えるものとする。

２　各班の班長は，班がこの防災規程どおりに活動することが困難または適当でないと判断したときは，ただちに隊長にその状況を報告し，必要な指示を受けるものとする。

（後発地震への注意を促す情報が発信された場合にとる防災対応）

第８条　隊長は，後発巨大地震への注意を促す情報が発信された場合，次の措置を講ずるものとする。

⑴　関係機関相互および組織内部において，確実に情報が伝達されるよう，あらかじめ定めた経路，体制および方法により，周知徹底を図る。

⑵　先発地震の発生から１週間，後発地震に対して注意する措置を講ずる。

⑶　日頃からの地震への備えの再確認および施設・設備等の点検等による円滑かつ迅速な避難の確保を行う。具体的には次による。

　ア　家具等の固定，事業所等における備蓄の確認等，日頃からの

地震の備えの再確認

イ　施設内の避難経路の周知徹底，情報収集・連絡体制の確認，

機械・設備等の転倒防止対策・点検等，顧客等や従業員等の円

滑かつ迅速な避難を確保するための備え

ウ　個々の病気・障害等に応じた薬，装具および非常持出品の準備，避難行動を支援する体制の再確認・徹底等，要配慮者の円滑かつ迅速な避難を確保するための備え

（訓練）

第９条　隊長が行う防災訓練は次による。なお，訓練は年１回以上行うものとする。

　⑴　情報収集・伝達に関する訓練

　⑵　津波からの避難に関する訓練

　⑶　その他前各号を統合した総合防災訓練

２　訓練に際し，次の点に留意するものとする。

　⑴　積雪寒冷地特有の課題を踏まえること

⑵　他の計画主体等との共同訓練を行うこと

⑶　必要に応じて顧客等の協力およびその参加を得ること

⑷　地方公共団体や防災関係機関の実施する防災訓練への参加に努めること

⑸　国，指定公共機関，地方公共団体等との連携を図ること

⑹　逐年その訓練内容を高度かつ実践的なものとするよう努めるこ

　と

（教育）

第１０条　隊長が従業員等に対して行う教育は次による。

　⑴　地震および津波に関する一般的な知識

⑵　日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震に伴い発生すると予想される地震動および津波に関する知識

⑶　日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震防災対策として現在講じられている対策に関する知識

⑷　後発地震への注意を促す情報の内容およびこれに基づきとられる措置の内容

　⑸　後発地震への注意を促す情報が発信された場合および日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震が発生した場合に具体的にとるべき行動に関する知識

　⑹　後発地震への注意を促す情報が発信された場合および日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震が発生した場合に従業員等が果たすべき役割

⑺　日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震対策として今後取り組む必要のある課題

（広報）

第１１条　隊長が顧客等に対して事前に行う広報は次による。

⑴　地震および津波に関する一般的な知識

⑵　日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震に伴い発生すると予想される地震動および津波に関する知識

⑶　後発地震への注意を促す情報の内容およびこれに基づきとられる措置の内容

⑷　後発地震への注意を促す情報が発信された場合および日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震が発生した場合の出火防止対策，顧客等が協力して行う救助活動・避難行動，自動車運転の自粛等，防災上とるべき行動に関する知識

⑸　正確な情報入手の方法

⑹　防災関係機関が講ずる災害応急対策等の内容

⑺　各地域における避難対象地域，急傾斜地崩壊危険箇所等に関する知識

⑻　各地域における避難場所および避難経路に関する知識

別表１

**地震防災隊組織表**

地震防災隊長

防火管理者

地震防災副隊長

副店長

情報収集連絡班

厨房スタッフ

避難誘導班

ホールスタッフ

地震防災隊活動要領

|  |  |
| --- | --- |
| 担当区分 | 任　　　務　　　内　　　容 |
| 地震防災隊長 | １　情報収集連絡班に地震および津波に関する情報の収集にあたらせること。２　日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震が発生したことを各班長に伝達するとともに，当該施設内にその旨および必要な措置について周知すること。３　避難誘導班に顧客等の避難誘導にあたらせること。４　従業員を集合させ避難させること。５　前号に掲げるほか，津波からの避難に支障がない範囲で，地震による被害の発生防止または軽減を図るために必要な措置を行わせること。 |
| 情報収集連絡班 | １　隊長の指示に基づき，ただちに地震および津波に関する情報の収集につとめ，随時隊長に報告すること。２　隊長の指示に基づき，地震および津波に関する情報の収集および隊長の命令の内容等防災上必要な情報を顧客，その他の従業員に伝えること。３　沈静後も，後発地震に備え，情報の収集に努める。４　あらかじめ幾つかの状況を想定し，それぞれの場合に応じた顧客等に対する情報伝達のための例文，手段等を定めておくこと。 |
| 避難誘導班 | １　地震の発生または隊長の指示に基づき，速やかに別図の位置につき，建物内の避難路の確保および安全の確認，当該地域の避難場所までの経路を示した地図の掲出等必要な措置を講じ，完了後はその旨を直ちに隊長へ報告すること。２　隊長から避難誘導開始の指示を受けたときは，顧客等を避難誘導すること。３　避難誘導の際には，拡声器等を用いて避難の方法や方向を指示し，混乱の発生防止に努めること。４　顧客等への避難誘導が完了したときは，その旨を確認し，直ちに隊長に報告すること。 |

避難経路図

避難場所（　函館市役所　）



※避難が困難な場合は，３階以上に避難することとする。